

公共交通に関する意見交換会結果

2021年3月19日（金）

大樹町地域公共交通会議資料

- ◆意見交換会の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- ◆意見交換会の結果まとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- ◆意見交換会結果要旨（歴舟地域コミュニティセンター）・・・・・・・・・・・・ 4
- ◆ // （石坂行政区会館）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- ◆ // （勤労者センター）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- ◆ // （生花研修センター）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- ◆ // （中大樹行政区会館）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- ◆ // （尾田地域コミュニティセンター）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- ◆ // （福祉センター）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- ◆ // （B & G海洋センター）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

■意見交換会の概要

☑意見交換会の目的

町民が抱える「生活の足」に関する課題の把握を行うとともに、今年度実施している実証運行の改善点を把握することを目的に、公共交通に関する意見交換会を開催する。

※社会福祉協議会主催の地域福祉懇談会と連携して実施

☑意見交換会の実施状況

日程	時間	会場	対象地区	参加者数
2月16日 (火)	10:00～11:30	歴舟地域コミュニティセンター	芽武、下芽武、更生、美成、浜大樹	8人
	13:30～15:00	石坂行政区会館	石坂、開進、上中島、中島、旭	5人
2月18日 (木)	10:00～11:30	勤労者センター	柏木町、新通、本町、双葉町	20人
	13:30～15:00	生花研修センター	生花、晩成	13人
2月19日 (金)	10:00～11:30	中大樹行政区会館	大和、上大樹、中大樹、東和、松山、下大樹、蒨和	20人
	13:30～15:00	尾田地域コミュニティセンター	拓進、相川、尾田、拓北、豊里、大光	20人
2月25日 (木)	10:00～11:30	福祉センター	西本通、新大樹、緑苑、寿町、日方	9人
	13:30～15:00	B & G 海洋センター	緑町、鏡町、松並町、南町、麻友、振別	10人

☑意見交換会の対象

大樹町に居住する町民を対象

☑意見交換会で把握した内容

- ・「生活の足」に関する課題
- ・今年度実施している実証運行の改善点

■意見交換会の結果まとめ

☑実証運行のコミュニティバスとデマンド交通の組み合わせで生活交通の確保をしてほしい

- ・今回のコミュニティバスを基本に、町民が利用しやすくなるように継続的に見直しを行ってほしい
福祉センター
- ・運行形態はコミュニティバスとデマンド交通の組み合わせで良いと思う
B&G海洋センター
- ・今回のようなデマンド交通の運行が望ましい
歴舟地域コミュニティセンター
石坂行政区会館
生花研修センター
中大樹行政区会館

☑利用者層を明確にした運行が必要

- ・ステップなどが用意されており、乗り降りがしやすい交通として位置付けられると利用しやすい
勤労者センター
- ・低床車両など、高齢者でも乗車しやすい車両が望ましい
中大樹行政区会館
- ・少年団に参加している子どもがおり、送迎ができる時間帯に公共交通が運行してくれると助かる
歴舟地域コミュニティセンター

☑町民が利用しやすい運賃体系の検討が必要

- ・200円では安く感じるため、尾田地区の実証実験のような形態であれば500円くらいが妥当
生花研修センター
- ・回数券の導入を検討してはどうか
中大樹行政区会館
- ・お互いさまあーずと連携した取り組みとして、サポーターの運賃を免除するなどの取り組みはあっても良いと思う
石坂行政区会館

☑その他（利用促進等に関するご意見多数）

- ・乗車体験会を実施して、利用への抵抗を軽減することが必要
勤労者センター
- ・体験乗車会などを実施してはどうか
尾田地域コミュニティセンター
B&G海洋センター

☑開催日時・場所

- ・令和3年2月16日（火） 10:00～11:30
- ・歴舟地域コミュニティセンター（参加者数：8人）

☑「生活の足」に関する課題

- ・現在の浜大樹地区は町民が密集して居住しているため、誰かが助けてくれる関係性がある。そのため、「足の確保」に対する切実さがない。ただし、将来に向けて「足の確保」は大切なことなので、ぜひ実証運行で検討したことを実現してほしい。
- ・ふれあいバスの運行にあわせた生活スタイルで、生活を合わせることができる。
- ・買い物は、「カケルくん」で何とかできるので、「通院」が将来的な不安である。
- ・現在、要介護者が増えているので、その支援が課題である。

☑今年度実施している実証運行の改善点

- ・少年団に参加している子どもがおり、送迎ができる時間帯に公共交通が運行してくれると助かる。
- ・周知ももっと分かりやすくしてほしい。
- ・デマンド交通の運行時間帯は適正である。
- ・運賃も適正である。



☑開催日時・場所

- ・令和3年2月16日（火） 13:30～15:00
- ・石坂行政区会館（参加者数：5人）

☑「生活の足」に関する課題

- ・現在はまだ元気だが、将来的にはデマンドバスが必要であり、サービスがあると安心感に繋がる。
- ・運転免許返納者が増加する中で、デマンドバスのサービスは必要である。
- ・介護予防教室と「カケルくん」の訪問日を合わせると、参加者数が増えるのではないか。

☑今年度実施している実証運行の改善点

- ・土日祝日に移動したい人もいるので、検討した方が良い。
- ・お互いさまあーずと連携した取り組みとして、サポーターの運賃を免除するなどの取り組みはあっても良いと思う。



■意見交換会結果要旨（勤労者センター）

☑開催日時・場所

- ・令和3年2月18日（木） 10:00～11:30
- ・勤労者センター（参加者数：20人）

☑「生活の足」に関する課題

- ・免許返納後は、バスを利用したいと思うが、バス停から荷物を持って移動するのは大変なので、自宅発着で利用できる交通サービスだと良い
- ・将来は、曜日毎に町内会単位で運行地域を設定するなど、小規模な運行ルートだと利用しやすい
- ・バスだけでなく、タクシー券の配布も有効ではないかと思う
- ・回数券のように、お得に利用できる乗車券などがあると便利

☑今年度実施している実証運行の改善点

- ・冬場は足元が悪く、試しに乗ってみるのも難しい
- ・高齢者や免許返納者を対象としているイメージが強く、利用しにくい
- ・ステップなどが用意されており、乗り降りがしやすい交通として位置づけられると利用しやすい
- ・乗車体験会を実施して、利用への抵抗を軽減することが必要
- ・タクシーと比較すると安く感じるので、200円程度でも良い



☑開催日時・場所

- ・令和3年2月18日（木） 13:30～15:00
- ・生花研修センター（参加者数：13人）

☑「生活の足」に関する課題

- ・最低でも週1回程度は、現地で買い物をしたいので、市街地に向かう交通は必要
- ・ボランティア輸送のような住民が運転手を担う交通よりも、交通事業者に運転手を担ってもらう方が安心できて、利用しやすいと感じる
- ・移動手段が限られており、タクシー運賃も非常に高くなるため、将来的には曜日や時間をモビリティに合わせる必要があると思っている
- ・曜日別に利用目的が明確となった運行形態だと予定を合わせやすく、利用しやすい

☑今年度実施している実証運行の改善点

- ・自宅から利用できる交通は便利だと思うので、まずは実証運行が実施されると良い
- ・200円では安く感じるため、尾田地区の実証実験のような形態であれば500円くらいが妥当



■意見交換会結果要旨（中大樹行政区会館）

☑開催日時・場所

- ・令和3年2月19日（金） 10:00～11:30
- ・中大樹行政区会館（参加者数：20人）

☑「生活の足」に関する課題

- ・ボランティア輸送は、デマンド交通ではカバーしきれない範囲をカバーしてはどうか

☑今年度実施している実証運行の改善点

- ・ボランティア輸送と組み合わせた運行をしてはどうか
- ・今回のようなデマンド交通の運行が望ましい
- ・自宅まで運んでくれる交通があると良い
- ・病院の診察予約等と連携したシステムがあると良い
- ・低床車両など、高齢者でも乗車しやすい車両が望ましい
- ・今回の片道200円は安いと思う
- ・回数券の導入を検討してはどうか



☑開催日時・場所

- ・令和3年2月19日（金） 13:30～15:00
- ・尾田地域コミュニティセンター（参加者数：20人）

☑「生活の足」に関する課題

- ・ボランティア輸送をNPO法人化して事業化してはどうか

☑今年度実施している実証運行の改善点

- ・様々な生活施設でバス待ちが出来る環境があると、バス待ちストレスが軽減される
- ・体験乗車会などを実施してはどうか
- ・目的地に直接アクセスしてほしい
- ・運賃は片道200円が妥当



☑開催日時・場所

- ・令和3年2月25日（木） 10:00～11:30
- ・福祉センター（参加者数：9人）

☑「生活の足」に関する課題

- ・週に1回でも良いので、目的地まで直接行く交通が望ましい
- ・地域ふれあい活動はとても良い事業なので、もっと周知した方が良い

☑今年度実施している実証運行の改善点

- ・大庭医院や工藤公園にもバス停がほしい
- ・今回のコミュニティバスを基本に、町民が利用しやすくなるように継続的に見直しを行ってほしい
- ・道の駅のバス待合所から直接バス停にアクセスできるようにしてほしい
- ・新しくなる役場にバス路線を引き込むことはできないか
- ・西本通の住宅街側を運行させてほしい
- ・運賃は片道100円が妥当である



☑開催日時・場所

- ・令和3年2月25日（木） 13:30～15:00
- ・B & G海洋センター（参加者数：10人）

☑「生活の足」に関する課題

- ・通院補助のハイヤー券は、通院目的だけではなく、買い物目的でも利用できると良い

☑今年度実施している実証運行の改善点

- ・実際に乗車してもらう周知活動を行うとより具体的な意見が取れるのではないか
- ・コミュニティバスも予約が必要と勘違いしている町民がいる
- ・自由乗降調査の乗車方法はきちんと理解してもらう必要がある
- ・運行形態はコミュニティバスとデマンド交通の組み合わせで良いと思う
- ・デマンド交通の運賃はもう少し高くても良いと思う（片道500円など）

